

音程

音程とは？

ふたつの音同士の隔たりを表す言葉で
英語では「Interval(インターバル)」と呼びます。

片方の音からもう一方の音まで
どれくらい離れているかを表すために用います。

完全なユニゾン状態を「一度」と呼び
音程がはなれていくごとに「二度」「三度」「四度」といった形で
数字が増えていきます。

音程の基本



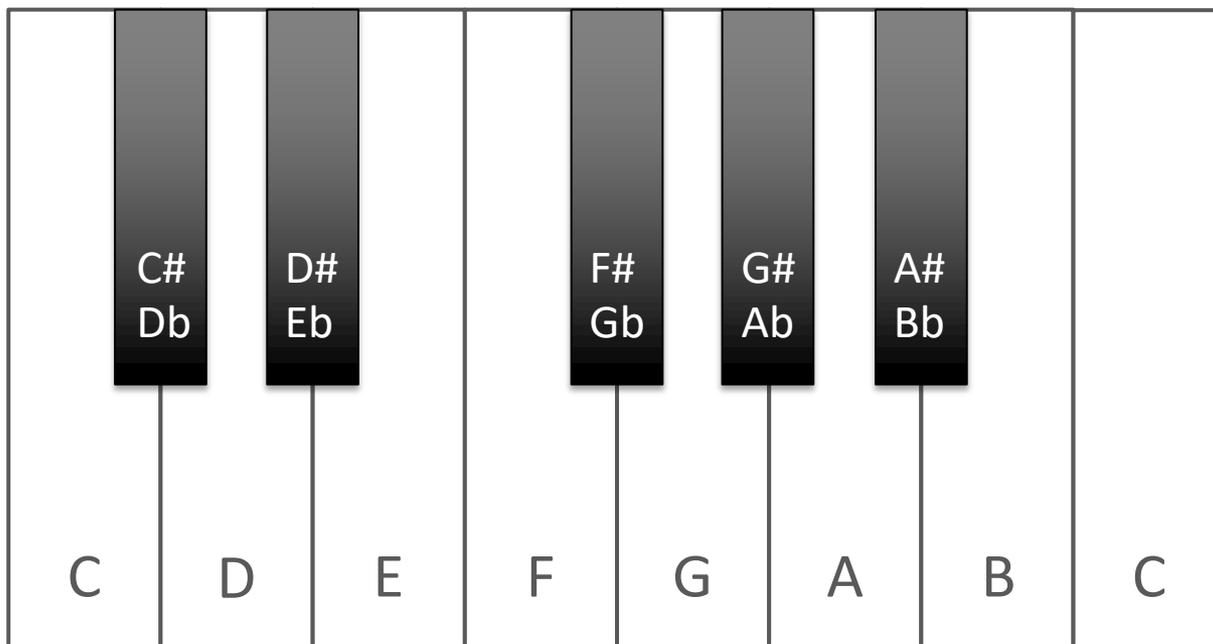
※音名について

OTOxNOMAでは音の高さを表す表記として
英語圏で用いられる音名「CDEFGAB」を採用します。

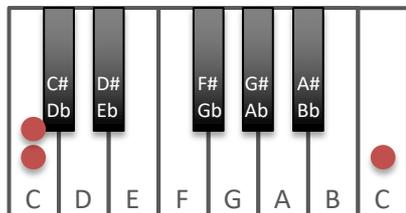
音名の詳しい説明に関しては
「音名と変化記号」の記事をご覧ください。

音名について

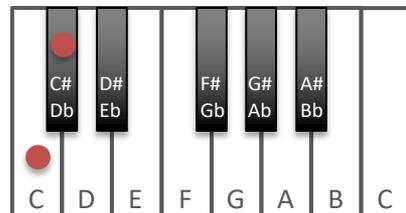
各ノートの呼び方(音名)



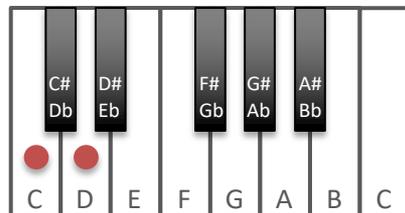
■ 完全一度・完全八度



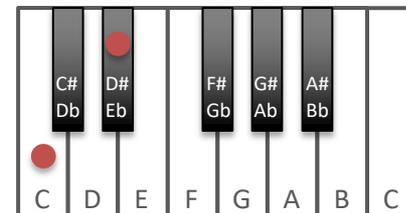
■ 增一度・短二度



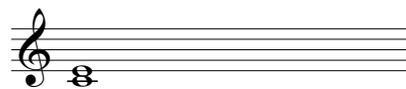
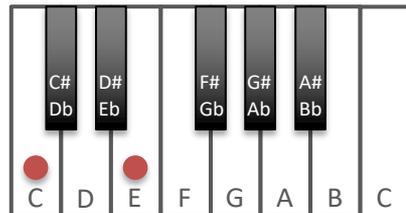
■ 長二度



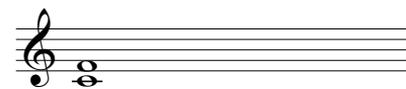
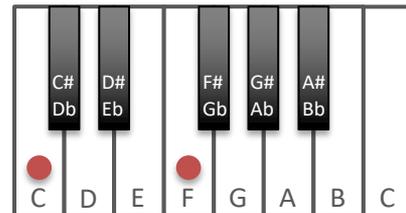
■ 增二度・短三度



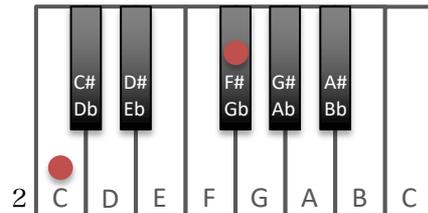
■ 長三度



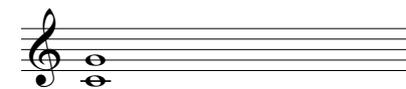
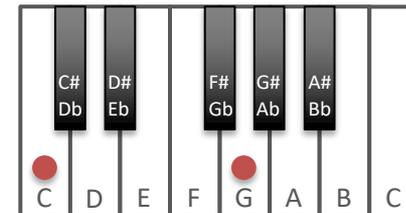
■ 完全四度



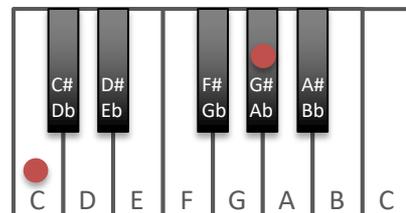
■ 增四度・減五度



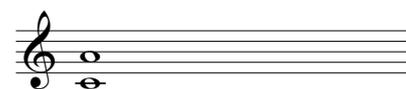
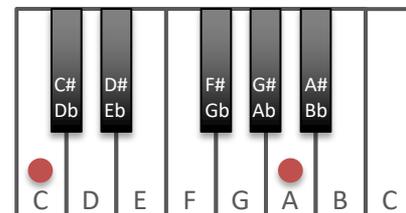
■ 完全五度



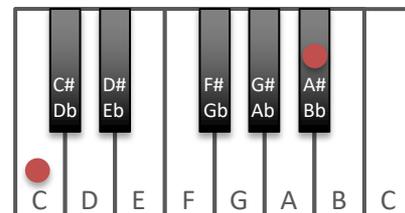
■ 增五度・短六度



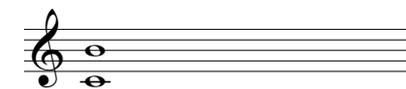
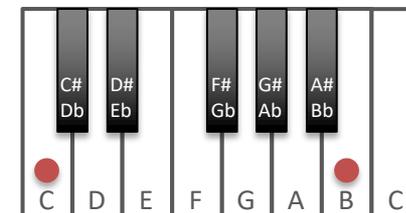
■ 長六度



■ 增六度・短七度



■ 長七度



長音程・短音程 (Major・Minor)

二度、三度、六度、七度の音程に対して適用される表現で
インターバルが半音広いものを「長〇度」
半音狭いものを「短〇度」といいます。

CとEの音は「長三度 (Major 3rd)」の関係にありますが
仮にEの音が半音下がってEbになった場合は
半音分音程が狭まりますので
「短三度 (Minor 3rd)」と表現します。

完全音程 (Perfect)

一度、四度、五度、八度の音程は
周波数の共和度が極めて高い音程であることから
「完全音程」と呼ばれ、それぞれ「完全〇度」と表現されます。

例えばCとFの関係を「完全四度 (Perfect 4th)」
CとGの関係を「完全五度 (Perfect 5th)」と表現します。

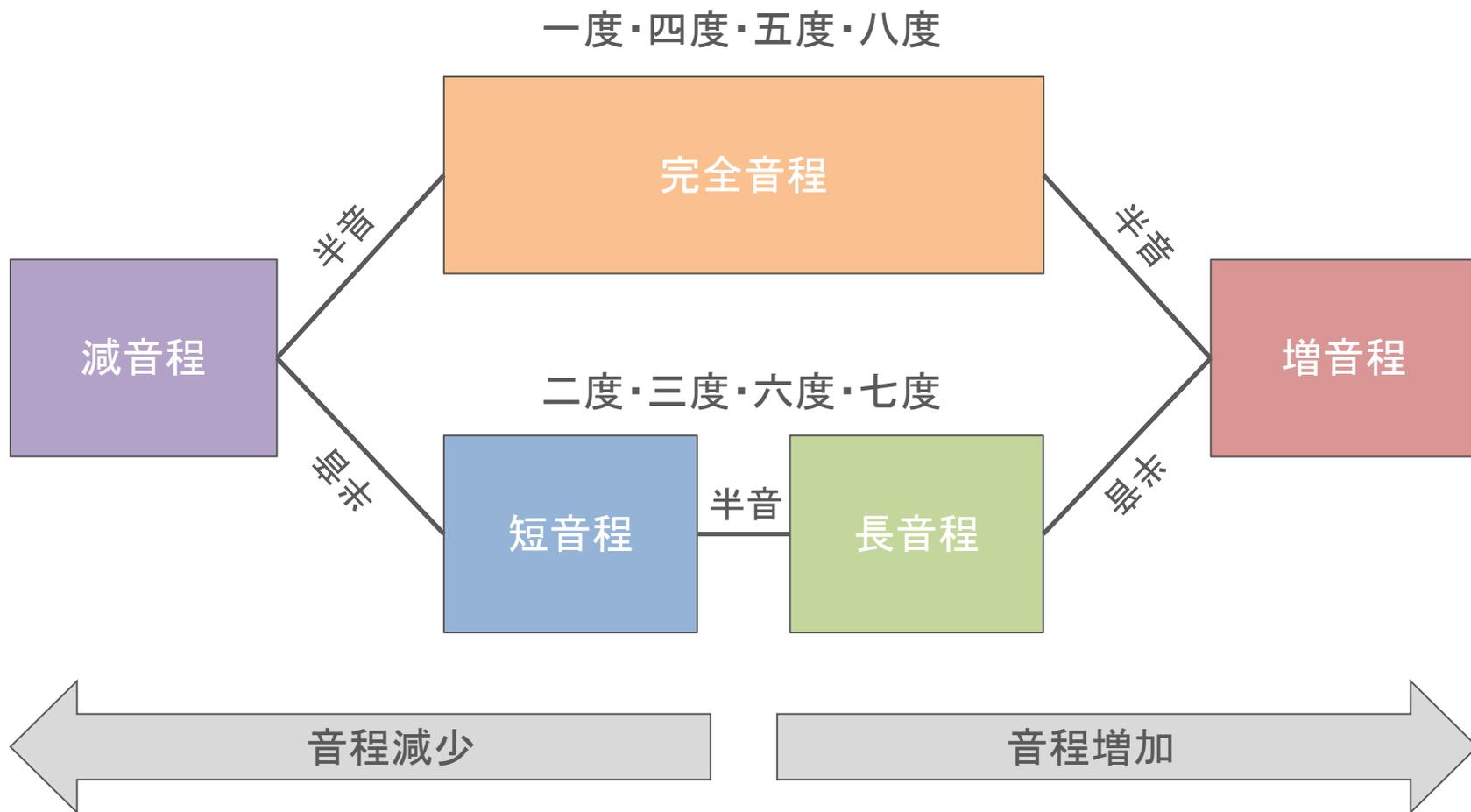
ちなみに、完全音程である一度、四度、五度、八度には
「長音程」と「短音程」は存在しません。

増音程・減音程 (Augmented・Diminished)

増音程、減音程とは

「長音程」「短音程」「完全音程」のインターバルがさらに半音増減した場合に使われる呼び方です。

音程の相関図



完全音程→増音程、減音程の例

完全四度を形成するCとFのうち
Fが半音上がってF#となった場合
「増四度 (Augmented 4th、aug4)」

完全五度を形成するCとGのうち
Gが半音下がってGbとなった場合
「減五度 (Diminished 5th、dim5)」

長音程→増音程、短音程→減音程の例

長二度を形成するCとDのうち

Dが半音上がってD#となった場合

「増二度 (Augmented 2nd、aug2)」

短七度を形成するCとBbのうち

Bbがさらに半音下がって、Bbbとなった場合

「減七度 (Diminished 7th、dim7)」

音程の覚え方

基準となる音と半音いくつ分離れているか数えればOK

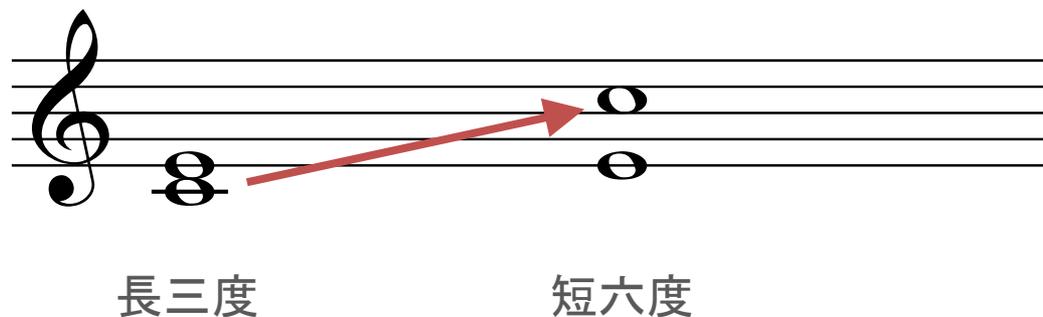
半音の数	0	1	2	3	4	5
音程	完全一度	増一度 短二度	長二度	増二度 短三度	長三度	完全四度

6	7	8	9	10	11	12
増四度 減五度	完全五度	増五度 短六度	長六度	増六度 短七度	長七度	完全八度

音程の転回

同じ構成音であっても、その上下をひっくり返すことによってふた通りの音程を作ることができます。

下の音をオクターブ上げることを「転回」といいふたつの音から二種類の音程を作ることができる。



転回における法則性

音程を転回させる場合には
転回前の音程と転回後の音程との間に
以下の2つの法則が生まれます。

1. 転回前後の音程を足し合わせると必ず9になる
2. 必ず「長音程⇔短音程」「完全音程⇔完全音程」「増音程⇔減音程」
となる

転回における法則性

- 短二度 \Leftrightarrow 長七度
- 長二度 \Leftrightarrow 短七度
- 短三度 \Leftrightarrow 長六度
- 長三度 \Leftrightarrow 短六度
- 完全四度 \Leftrightarrow 完全五度
- 増四度 \Leftrightarrow 減五度